

## 【目的】

石油コンビナート災害対応について、AI、IoT等の先進技術や新しい資機材等の活用を検討し、防災体制の強化を図る。

そのため令和2年度は昨年度検討会にて示した「石油コンビナート災害対応の未来像」を元に、より効果的、具体的な導入をするため、実装にむけ検証段階へ移行をしていく。

## 【検証方法】

災害対応に対する検証	防災体制の整理	幅広い検証
保安分野の動きを注視しつつ、災害対応への先進技術導入を検証する。	防災体制を詳らかに整理し、先進技術を導入できる箇所を明確にする。	IoT等デジタル技術だけでなく新しく開発された資機材、システム全般を対象とする。

# 石油コンビナート災害対応への先進技術活用検討会

## 【第2回検討会の概要】

### 防災体制の整理

- ・ 石油コンビナートに対する法規制等の整理
- ・ 特定事業所、都道府県、消防機関の防災体制の現状整理
- ・ 現行の災害対応モデルの整理



### 先進技術適用箇所の選定

- ・ 「昨年度検討会で得た防災体制の未来像」及び「防災体制の整理」から、先進技術の効果的で具体的な適応箇所を整理する。

～現在～

消防庁からの提案に加え、参画委員へ広く提案を募り、適応箇所の意見を求めている。

## 【今後の方針】

先進技術などの効果的で具体的な適応箇所について選定し、次年度は「技術・性能評価」や必要に応じ「法令改正」など、災害対応の高度化に向け進めていく。